

平成 30 年度

第 3 回総務経済常任委員会会議録

平成 30 年 5 月 29 日

宍 粟 市 議 会

平成30年度第3回総務経済常任委員会会議録

日 時 平成30年5月29日(火曜日)

場 所 宍粟市役所501会議室

開 会 5月29日 午前10時57分

次 第

1. 協議・審査事項

第80回宍粟市議会(定例)付託案件審査

(まちづくり推進部)

第63号議案 消防ポンプ自動車購入契約の締結について

第80回宍粟市議会定例会付託案件討論及び採決

出席委員

委員長	飯田吉則	副委員長	田中一郎
委員	津田晃伸	委員	大久保陽一
"	田中孝幸	"	東豊俊
"	西本諭		

出席説明員

(まちづくり推進部)

まちづくり推進部長	富田健次	まちづくり推進部次長	樽本勝弘
消防防災課長	田村純司	消防防災課消防安全係長	長谷川将知
消防防災課消防安全係主事	妹尾康平		

事務局

係 長 岸元秀高

( 午前 10 時 57 分 開会 )

飯田委員長 それでは、第3回総務経済常任委員会を始めたいと思います。

今回は、付託案件の審査ということでよろしく申し上げます。

今回の審査は、第63号議案の消防ポンプ自動車購入契約の締結について、これについての審査をお願いしたいと思います。

当局のほうから申し上げます。

部長。

富田まちづくり推進部長 それでは、委員会付託となりました第63号議案、消防ポンプ自動車購入契約の締結について、御説明をさせていただきます。座って説明をさせていただきます。

今般、平成30年度の消防施設整備といたしまして、購入後20年経過後に更新することを基本といたします更新基準に基づきまして、起動分団でございます一宮支団第2分団東市場部と、第5分団三方町部の消防ポンプ自動車2台を更新することといたしました。これに伴いまして先般、4月27日に入札公告を行い、5月17日に開札としましたが、結果、株式会社藤井ポンプ製作所代表取締役、横田浩之と契約金額2,779万9,200円で購入契約を締結しようとするものでございます。

この契約に際しましては、予定価格が2,000万円以上となることから、宍粟市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

契約の詳細は、本日の委員会資料1ページのとおりでございまして、購入数量は消防ポンプ自動車CD-1型、2台です。

契約相手先は、兵庫県姫路市白国2丁目13番1号、株式会社藤井ポンプ製作所代表取締役、横田浩之。

契約金額は、2,779万9,200円。

納入期限は、平成31年2月15日としてございます。

納入場所は、宍粟市役所で、納入後関係消防団と日程調整を行い、引き渡しとなります。

配属先は、先ほど説明したとおり、東市場部と三方町部となります。

なお、資料に添付しております写真は、平成28年度に購入整備しました千種支団第1分団第2起動部のCD-1型消防ポンプ自動車で、今回購入しようとするものと同型のものになります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく申し上げます。

飯田委員長 当局の説明は終わりました。

何か御質問ございましたら。

田中委員。

田中孝幸委員 一つだけお聞きします。前回購入された千種支団の消防自動車と仕様は全く同じと考えればよろしいでしょうか。内容というか。

飯田委員長 長谷川係長。

長谷川消防安全係長 仕様については原則同じです。ただ、分団の使い勝手等によって左右のパネルに取りつけるものの位置関係とか、そういったものの調整はさせていただきます。

飯田委員長 よろしいか。ほかに。

東委員。

東委員 同じようなことだけでも、前回の千種のこととちょっともう記憶から飛んでおるんですけどね、CD-1型というのは、仕様が全く一緒ということで、さっきも言ったように、前回の千種のもの金額はちょっと忘れたんだけども、前回も同じ形式の消防ポンプ、前回も藤井ポンプ製作所から購入でしたかいな。

飯田委員長 富田部長。

富田まちづくり推進部長 前回、平成28年に整備をしましたが、そのときも藤井ポンプ製作所で行いました。

飯田委員長 東委員。

東委員 それ聞いたのと、それと、見たとおりですけども、予定価格がありますよね。8社の入札において、7社までは妥当という言葉は適当やないかもわからんけども、こんなもんだろうと我々は思うんだけども、1社だけ特別に低価格の入札になってますね。この辺は何か理由があるのかということと、それと、藤井ポンプさんが過去、宍粟はさっき言ったように千種もそこからだったということだったけども、かなりこの辺の消防ポンプ自動車の納入実績というのは、かなり大きいものがあるのかな、その辺ちょっと2点聞かせてください。

飯田委員長 富田部長。

富田まちづくり推進部長 まず予定価格と今回の入札価格の部分なんですけど、こちらのほうも藤井ポンプ製作所のほうに確認しましたところ、企業努力というんですか、どうしても今回の消防ポンプ自動車の整備を取りたいというんですか、そういった意向が強いということで、今回この価格にしたということで説明を聞いてございます。

それから、藤井ポンプ製作所の実績なんですけど、一昨年、平成28年度は藤井ポンプでございますけど、過去平成23年までさかのぼりますと、それ以外は別の会社のほうが消防ポンプの納入をされているということでございます。

飯田委員長 よろしいですか。東委員。

東委員 そのほうだけでも、要はさっき言ったように、藤井ポンプさんは消防ポンプ自動車の納入実績、宍粟市はもちろんだけども、かなり手広いのかなということ、それを聞いたんです。会社の実績というかな、それをちょっと聞いてみたいんですよ。わからないかな。

飯田委員長 富田部長。

富田まちづくり推進部長 ちょっと今手元にはございませんが、それなりの実績はあるんだろうというふうに思います。

飯田委員長 津田委員。

津田委員 ちなみに、平成28年度、千種の消防車は幾らで落札したんですか。

飯田委員長 富田部長。

富田まちづくり推進部長 平成28年度も2台を一度に契約をさせていただいております。2台で3,499万2,000円という契約額で契約しております。

田中一郎副委員長 飯田委員長。

飯田委員長 各委員とも結局企業努力という名のもとでのこの低価格という部分を、そこは信用せなしゃあないんかなと思うんですけども、そういう意味の中で本当に機能とか、そういうことについて藤井さんが保証をして、あとはもう企業の努力なんだという部分を信用するしかないというところなんで、だから本当にこれで藤井さん自身も大丈夫なかなという部分もあるんで、本当に若干、若干どころじゃない、かなりの値段の差があるというところで、この辺がもう少し本当に企業努力ということだけでできるんかという部分については、ちょっと精査してもらっても必要もあるんかなと思うんですけど。

田中一郎副委員長 富田部長。

富田まちづくり推進部長 こちらのほうも確認をいたしまして、今回の整備に係る内訳というんですか、その確認をさせていただいております。比較しますのは、先ほどございました平成28年度の整備のときとの比較ということになるんですけど、まず、車両の部分については一昨年と全く同じ額を入れてこられています。何の違いかといいますと、艀装費というんですか、消防自動車の回転灯をつけたりとか、いろんな装備をされるんですか、そちらの手間賃というんですか、そちらのほうを非

常に企業努力をされているということで聞いております。

飯田委員長 はい、わかりました。

ほかに。

西本委員。

西本委員 藤井ポンプさんなんですけども、この8社のうち、要するに製造販売している、自分とこでつくって売っている、そうじゃなくて、他社からポンプ車買ってきて売っているという、そういうことはない、全部これ8社とも自分とこで製造している会社ですか。

飯田委員長 田村課長。

田村消防防災課長 自分とこで全部製造している会社はありません。基本的な車体のベースというのは日野自動車とか、四駆の型のバスでもみんな一緒に、給食の配送車でも一緒です。そのベースは一緒に、あと上に今部長が言いました車体艤装とか、一般取り付けの艤装とか、その部分ですので、全く一から全部メーカーでつくっている業者はないです。

飯田委員長 西本委員。

西本委員 平成28年当時3,500万円ぐらいの値段で落ちとって、今回2,700万円というのは、企業努力と言えは企業努力でしょうけども、何かちょっとほかと違い過ぎて気にはなるけどね、本当にちゃんと調査してもらっているんだと思うんですけどね、その辺、要チェックも必要やなと思うんですけどね。

飯田委員長 田村課長。

田村消防防災課長 先ほど部長が言いましたように、それぞれ見積もりの精査もしまして、艤装費のところでは努力されているということですので、前回お示ししました仕様書がありますので、その辺もチェックしながら、その辺をよく確認したいと思います。

飯田委員長 ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

飯田委員長 ほかにないようでしたら、これで審査を終わります。

御苦労さんでした。

(まちづくり推進部職員退室)

飯田委員長 それでは、第63号議案、消防ポンプ自動車購入契約の締結について、皆さんの自由討議はございますか。

西本委員。

西本委員 さっきの話なんですけど、同じ会社で平成28年度に3,500万円で売っていたものが、今度2,800万弱ぐらいということで、例えば考えられるのは、企業的にちょっと厳しいと、だからダンピングじゃないけど、そういうことをしている、この可能性もなきにしもあらずで、ほかは大体並行の予定価格となっているということだから、製造から納入の要チェックというか、その辺をするべきというような、平成28年度に3,500万円で買ったということがわかったんで、ちょっと余計不信感、不信感と言うとおかしいですけど、企業努力ということだけど、その辺の要チェックをするということを要望したいと思います。

田中一郎副委員長 飯田委員。

飯田委員 私も先ほど田村課長が前回のときの仕様書に基づいてチェックをするということだったので、できればその仕様書のチェックがどういうものやったんかということを委員会のほうに出してもらえれば、前回と今回がその仕様書でほぼ変わらないということになれば、問題はないんかなというふうに思いますので、やっぱりその辺のところの資料提供を求めてもいいかなと思うんですけど、いかがでしょうかね。

津田委員。

津田委員 私もこの後、さっき確認すればよかったんですが、保証とか、そういったものって、何年とかってあるのかなというのが。

飯田委員長 それについても一緒に提供してもらおうように。

東委員 それも含めて要チェックということで。

津田委員 そうですね。もしかして保証がね、この会社がいなくなったときに、誰が保証するんやとか、その辺だけ。

飯田委員長 結構長いこと使うでね、20年とか。

田中委員。

田中孝幸委員 今、ふと思うたんですけども、あとのメンテナンスというたら、車検だけになるんですかね。車検を20年するいうたら、何ぼ要るんでしょうかね。

飯田委員長 だからその辺も考えとってもらわんとあかん。

田中孝幸委員 だから、それも込みでそこを考えとんかなという思いはするんですけど。

飯田委員長 東委員。

東委員 あくまで価格でね、実績があるということなんで、全く信用できないということはないと思うんですけども、一番気になるのは、予定価格から1,000万円の

違いと。それと、入札 8 社のうちの 2 番手とも比較しても 500 万円の差という、これがあまりにも大き過ぎるということで気になったんですけども、要は、この消防車とか、それから公用車に関しては、かなり後のことを考えて思い切った入札をすることが結構あるようです。損して得取れという形もあるようですので、安う買うにこしたことはないんで、やむを得ないかなということで、委員長や副議長が言われたように、後の検査項目とか、そういうのをきちっと精査しておいたらええかなと思いますね。

飯田委員長 以上でよろしいですか。

(「なし」の声あり)

飯田委員長 それでは、採決の前に討論がございましたら。

(「なし」の声あり)

飯田委員長 よろしいですか。

それでは、第 63 号議案につきましての採決を行いたいと思います。

第 63 号議案に賛成の委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

飯田委員長 全員賛成ということで可決すべきものと決しましたので、報告いたします。

報告なんですけども、今の部分何かつけ加える必要がありますか、そういうことを。もう別に特にそれはなしで委員会でもたチェックしますか。よろしいですか。

基本的には、もう特に問題なく提案理由の部分だけで承認すべきものということでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

飯田委員長 では、皆さん、次の委員会的时候には、またその辺のところもきっちり、あのとき言ったけどもということでお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

終わります。

田中一郎副委員長 御苦労さまでした。

(午前 11 時 16 分 閉会)

宍粟市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

宍粟市議会総務経済常任委員会 委員長 飯 田 吉 則